

パネルディスカッション

建設産業における技術情報の収集と活用

座長 太田 順

(株)大林組 電子計算センター

1. 討論会テーマの定義

1. 1 建設産業

建設産業という場合は、一般に、建設活動を営む事業すべてが対象とされる。主として、建設工事を施工する建設業、調査・計画・設計を行なう事業主及び建設コンサルタント等の建設関連業、建設資材の供給を担う建設資材業などが含まれる。

産業構造の展開からみれば、建設産業は第2次産業に含まれる。蛇足ながら、

第1次産業：農・林・水産・牧・畜業

第2次産業：工業・加工業（製造業・建設業・鉱業）

第3次産業：流通・サービス業（運輸、通信、ガス、水道、商業、金融、
各種サービス）

第4次産業：知恵の産業

第5次産業：情緒・情緒心

第6次産業：宗教

と紹介されている。

建設活動を事業プロセスの流れで見れば、①調査・計画、②設計、③施工、④維持管理（保全）の4段階に区分でき、構成面から見れば、①発注者、②建設コンサルタント、③建設企業、④施設管理者が考えられる。

1. 2 技術情報

技術情報は、建設工事の事業プロセスにおいて発注・生産、加工される技術にかかわる情報の事であるが、この情報は技術的業務に活用されるばかりでなく、事業プロセスの諸活動で参照・活用される情報でもある。企業に例をとれば、その技術力評価、アピールの度合、特長、経歴など。一般製造業の技術情報には共通的要素が多く、余り手を加えなくても水平展開が可能である（推定）が、建設産業のそれは、基礎的な項目を除けば個別的要素が多いので、技術情報に索引をつけ集積しておき、場合に応じて類似性の高いものを抽出し活用する必要がある。

技術情報を発生過程の時系列でとらえると、過去に生産され保管・蓄積されている情報と、現時点で新たに生産された新規情報とがある。新規情報の例として、設計用のC A Dシステムや現場の工事管理で発生する情報などがこれにあたるが、建設プロセスが次段階に進むにつれ、それまでの情報がもう過去の情報ということになる。

また技術情報を物理的にとらえると、図面・報告書等で代表される実物資料とファイリングされ、それに付加されたコード等によって検索するために準備された索引情報とに分けられる。

1. 3 収集と活用

技術情報を便宜上、外部情報と内部情報に分けると、外部情報は事業プロセスの上流から次工程に伝達される技術情報と一般的な情報（例えば、技術文献、商用データベース情報、地図、土質情報等）がある。これらはそのフォームやファイルされている状況がプロセス全体を通じて統一されているものではないが、それぞれの領域で（書籍であれば、その版の大きさ、商用データベースであれば情報提供者側の仕様・マニュアル、その他J I S規格など）規定・統制・限定されているので、諒承して使用する事となる。

しかし、内部情報（外部情報でも一旦、加工して取り込んだものも含む）は、その情報蓄積のための標準化や、有効活用のための共有化には工夫が必要である。

情報は、その発生からファイリングされるところまでを充分注意して扱わないと、以後の活用段階ではほとんど利用されなくなる危険性がある。つまりコミュニケーションの道具となる文書の収集・作成からファイルされるまでの分野が非常に大切となる。この基礎になる大切なものがフォーム管理である。仕事を進める上でどんなフォーマットで進めるか、情報の受け方、情報の作成の仕方、その流し方を考えなければならない。（＊A4化）

ファイリングで注意しなければならないのは、①インデックス管理、②アドレス管理（場所の管理）、③期限管理等である。

今後の問題は、ファイリングの世界の複雑化（メディアの変化）である。即ち、資料のファイリング、マイクロ化、フロッピーディスク、CD-ROM、光ディスク、光磁気ディスクの様にメディアが多岐にわたってくる。（＊メディア）

情報の活用に関連して、大事なものの1つは情報を集め、データベース化し、共有化していく事を継続させる仕組みが大切である。（＊Data Base、＊共有化）

また、急速な情報処理 Hard Ware の新機種出現（＊情報管理部門の対応）への対処など難しい問題が多い。

2. パネルディスカッションの進め方

2. 1 パネリストからの話題提供

各パネラーそれぞれの立場から話題を提供して載く。

話題に含んでほしい内容は

- ①取扱っている技術情報（広い意味での）
- ②情報の収集方法
- ③情報の蓄積（媒体物）、保管
- ④活用方法とその運用
- ⑤その他

以上について現状と問題点

2. 2 将来展望

現状と問題点を踏え、望ましい技術情報の収集と活用について考えを述べて載く。

- ①有るべき姿
- ②種々の要望など

2. 3 Key - Words

- ①技術情報管理
- ②収集のためのソフト（ノウハウ）
- ③情報蓄積媒体
- ④活用のためのハードウェア
- ⑤Data Base
- ⑥ファイリング
- ⑦フロッピーディスク
- ⑧CD-ROM
- ⑨光ディスク
- ⑩情報活用のためのHard Ware、手指、方法
- ⑪情報収集システム
- ⑫情報の加工
- ⑬ネットワーク時代の到来
- ⑭OA機器がもたらす諸問題と対策
- ⑮ペーパーレスオフィス

以 上